

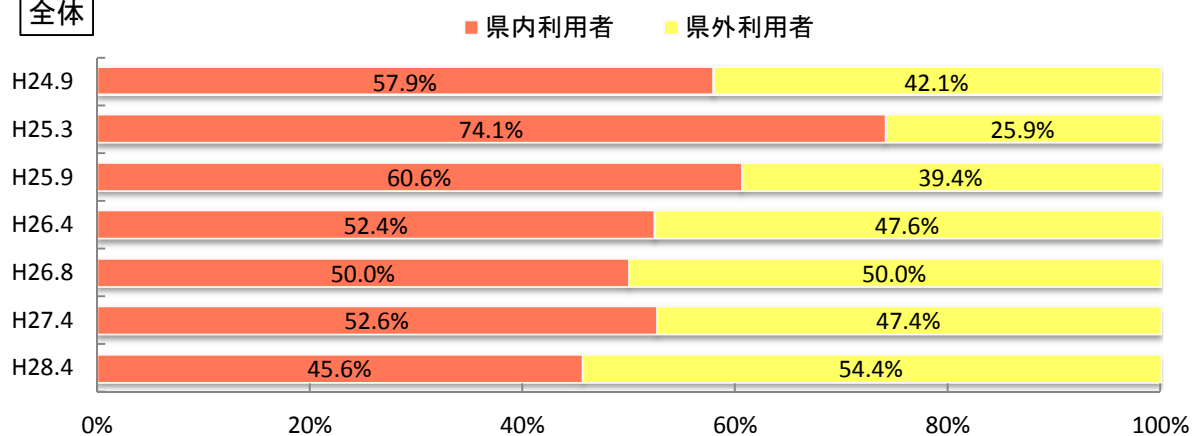
平成28年度 第1回 信州まつもと空港搭乗者アンケート調査 (札幌便・福岡便) (平成28年4月16日～22日) における利用者の動向

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1 実施期間 | 平成28年4月16日(土)～22日(金) |
| 2 調査方法 | 信州まつもと空港搭乗待合室で配布し同室内で回収する方式 |
| 3 調査対象 | 信州まつもと空港定期便の出発便の搭乗者 |
| 4 有効回収票数 | 札幌便 201 福岡便 306票 合計 507票 |

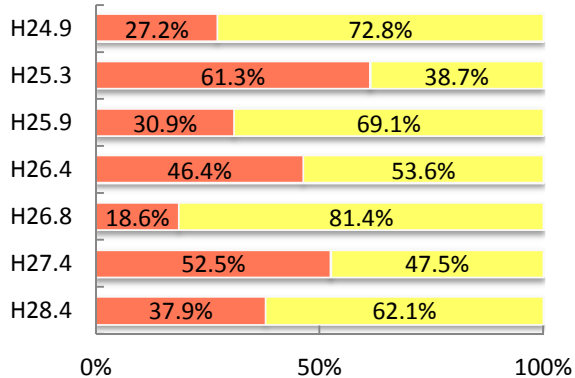
【県内・県外利用者の状況】

定期便全体では、県内利用者の割合が45.6%、県外利用者の割合が54.4%となった。路線別では、福岡便では、県内利用者の割合が37.9%、県外利用者の割合が62.1%となっており、県外利用者の割合が高くなっている。札幌便では、県内利用者の割合が57.2%、県外利用者の割合が42.8%となっており、過去の調査と同様に県内利用者の割合が高くなっている。

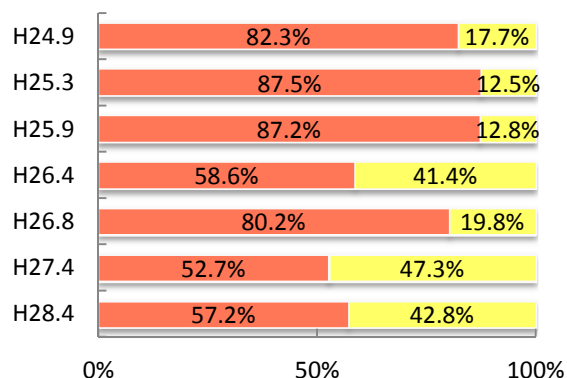
全体



福岡便



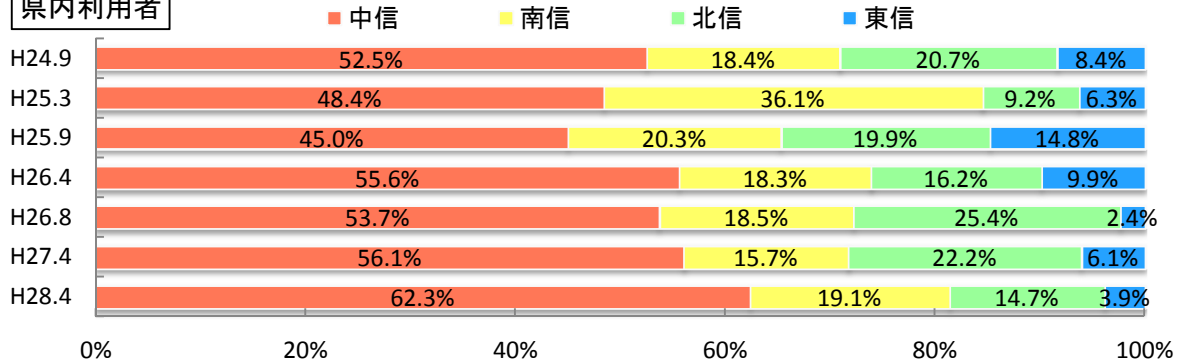
札幌便



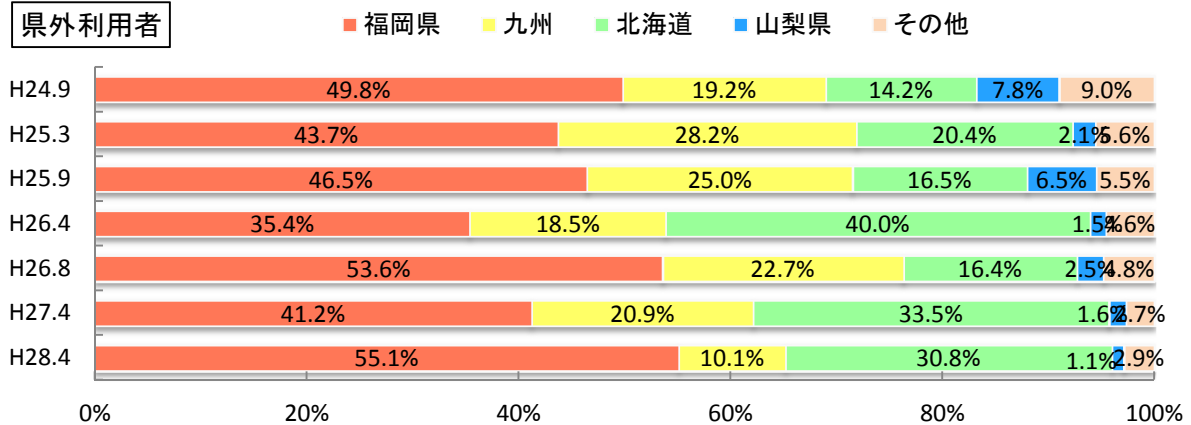
【利用者の居住地】

居住地地別に見ると、県内利用者では中信が62.3%と半数以上を占め、南信の19.1%と合わせて前回調査から増加している一方、北信が14.7%と減少している。県外利用者では福岡県が55.1%と過去最高の割合となっており、過去の調査と同様に福岡も含めた九州地区からの利用者が高い傾向を示している。

県内利用者



県外利用者

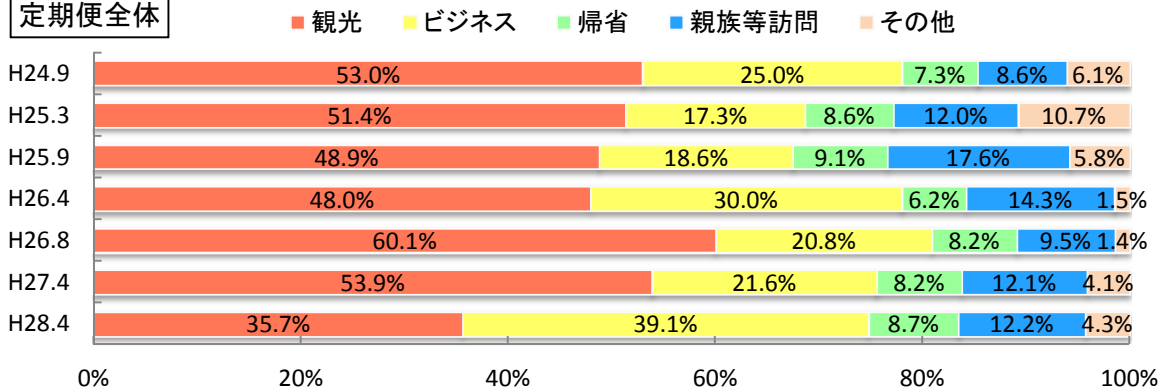


【旅行目的】

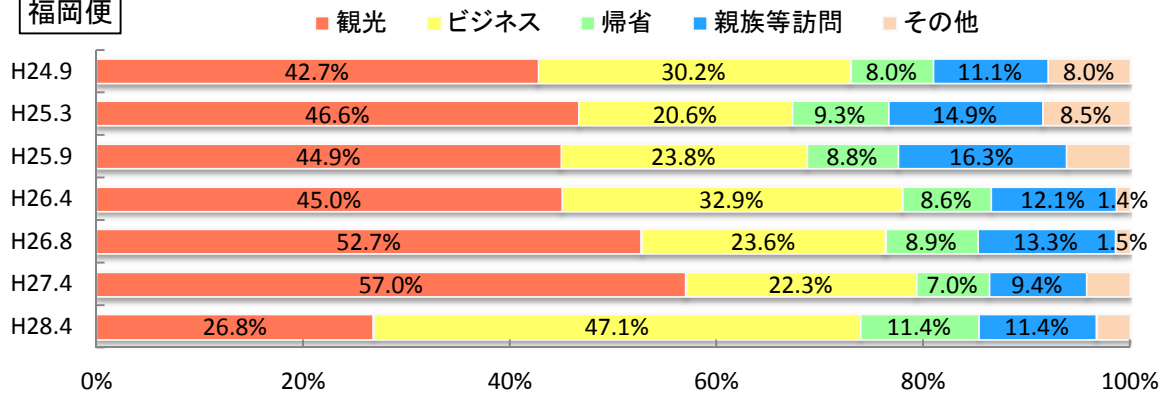
観光目的について、定期便全体では35.7%となっており、過去の調査と比較して、低い割合を示す結果となった。一方、ビジネス目的が39.1%となっており、過去の調査と比較して、高い割合を示す結果となった。

路線別で見ると、福岡便では、ビジネス目的が47.1%と、高い割合を示しており、札幌便では、観光目的が49.2%と約半数を占めている。

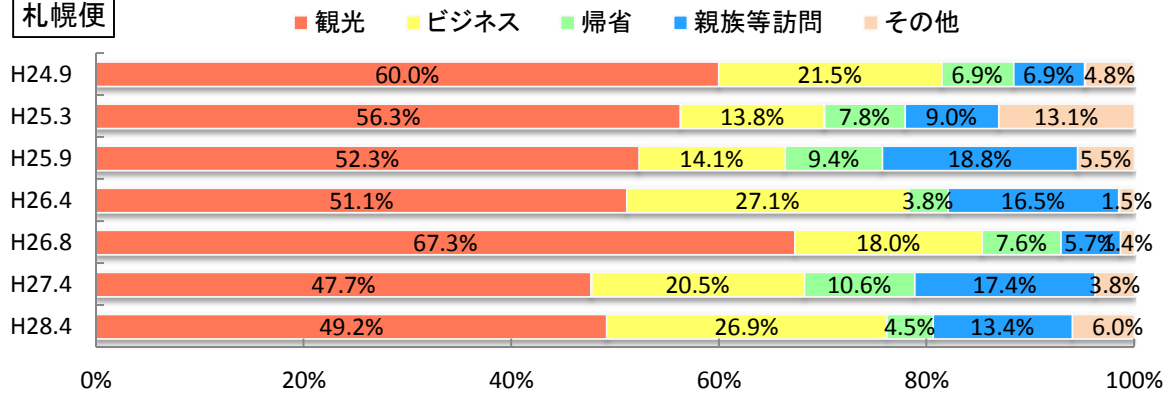
定期便全体



福岡便

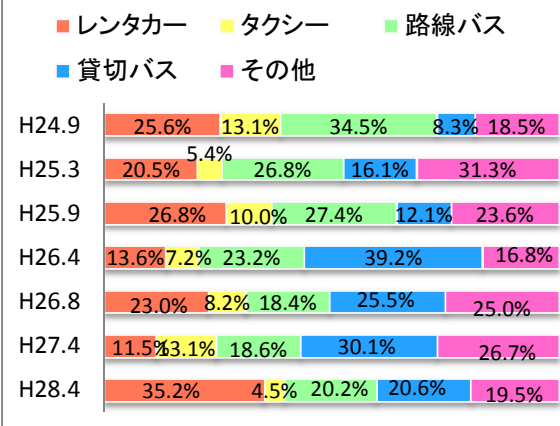


札幌便

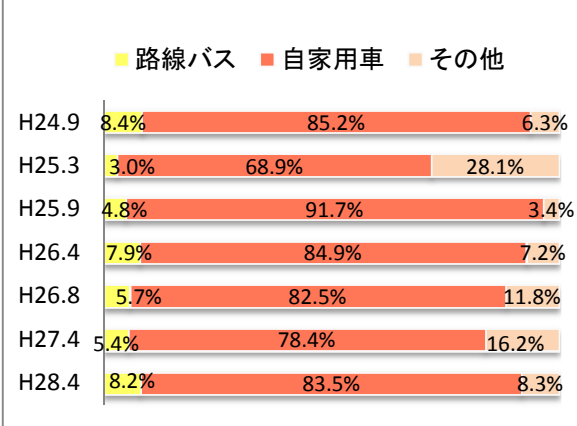


【参考:その他調査項目】

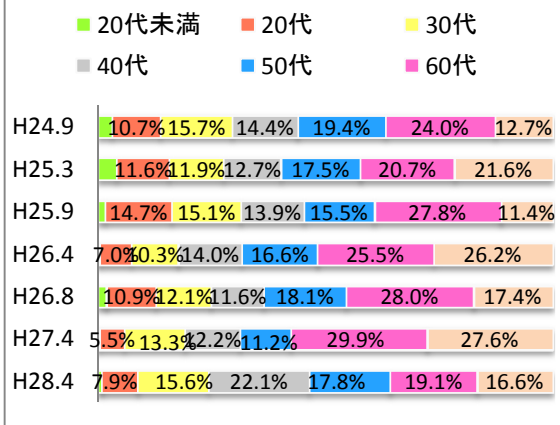
県外利用者 空港からの交通手段



県内利用者 空港までの交通手段



利用者年齢層



旅行日程

